

出向先紹介コーナー**社団法人 日本電気協会**

日本電気協会は、電気関係事業の進歩と発展を図り、産業の振興や文化の進展に寄与することを目的として、大正10年に設立された歴史のある団体です。日本電気協会は、電気関係の事業に幅広く活動していますが、技術部、出版部、試験講習部、広報部、新聞部などの部署に分かれています。皆さんになじみがある「電気新聞」は新聞部で、「生産と電気」、「電気事業便覧」や各種規程・指針(配電規程、分散型電源系統連系技術指針など)は出版部で発行しています。



なお、私は技術部に所属していますので、技術部の業務についてご紹介します。

<技術部の業務>**●技術規格の作成**

電気保安確保のため、電気事業法や電気用品安全法に基づく技術基準が定められており、この技術基準は、技術や材料の進歩による安全性・経済性の向上などにより、定期的な見直しが必要になります。さらに、技術基準を運用・補完するため、民間の自主的な技術規格も必要となります。そのため、学識経験者、関係団体、消費者団体の代表などによる委員会を設立し、中立・公平な検討を行っています。日本電気協会はその委員会の事務局をつとめており、代表的な委員会に「日本電気技術規格委員会」、「電気用品調査委員会」、「技術基準適合評価委員会」などがあります。

●技術規格の国際整合化

技術規格が、国際的な整合を求められているため、国際規格を調査研究し、国際的に通用する技術規格を整備する必要があります。このため、「電気設備技術基準国際化委員会」、「電気用品等規格・基準国際化委員会」が設置されており、この事務局もつとめています。

●優良電気設備の推奨・認定

自家用高圧電気設備の保安確保と電気事業者への波及事故防止を目的とした推奨制度と消防用設備などの非常用電源の確保を目的とした認定制度を実施しています。

**●原子力発電に関する調査**

原子力発電所の耐震設計に関する調査・研究や保安に関する電気技術規程・指針の制定(「原子力規格委員会」)などを行っています。

技術部 清沢 和紀

平成13年7月に出向して、配電業務に関する仕事を主にしています。具体的には「日本電気技術規格委員会」の下部組織である「配電専門部会」、「分散型電源系統連系専門部会」などの事務局を行っています。このような業務をするのは、はじめてでしたが、委員会の委員には、中部電力をはじめ、他電力やメーカの方が多数参加しており、さまざまな観点から勉強になることが非常にたくさんあります。また、日本電気協会は歴史が古いため、「電気設備の技術基準」などの制定に関する古い検討資料があり、当時の方々のご苦労が伺えます。

最後に、私が事務局をしている専門部会で作成した「22(33)kV配電規程」および「分散型電源系統連系技術指針」が出版されましたので、従事されている方は参考にしてくださいようお願いいたします。



住所 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビルヂング

ホームページ
<http://www.denki.or.jp>